

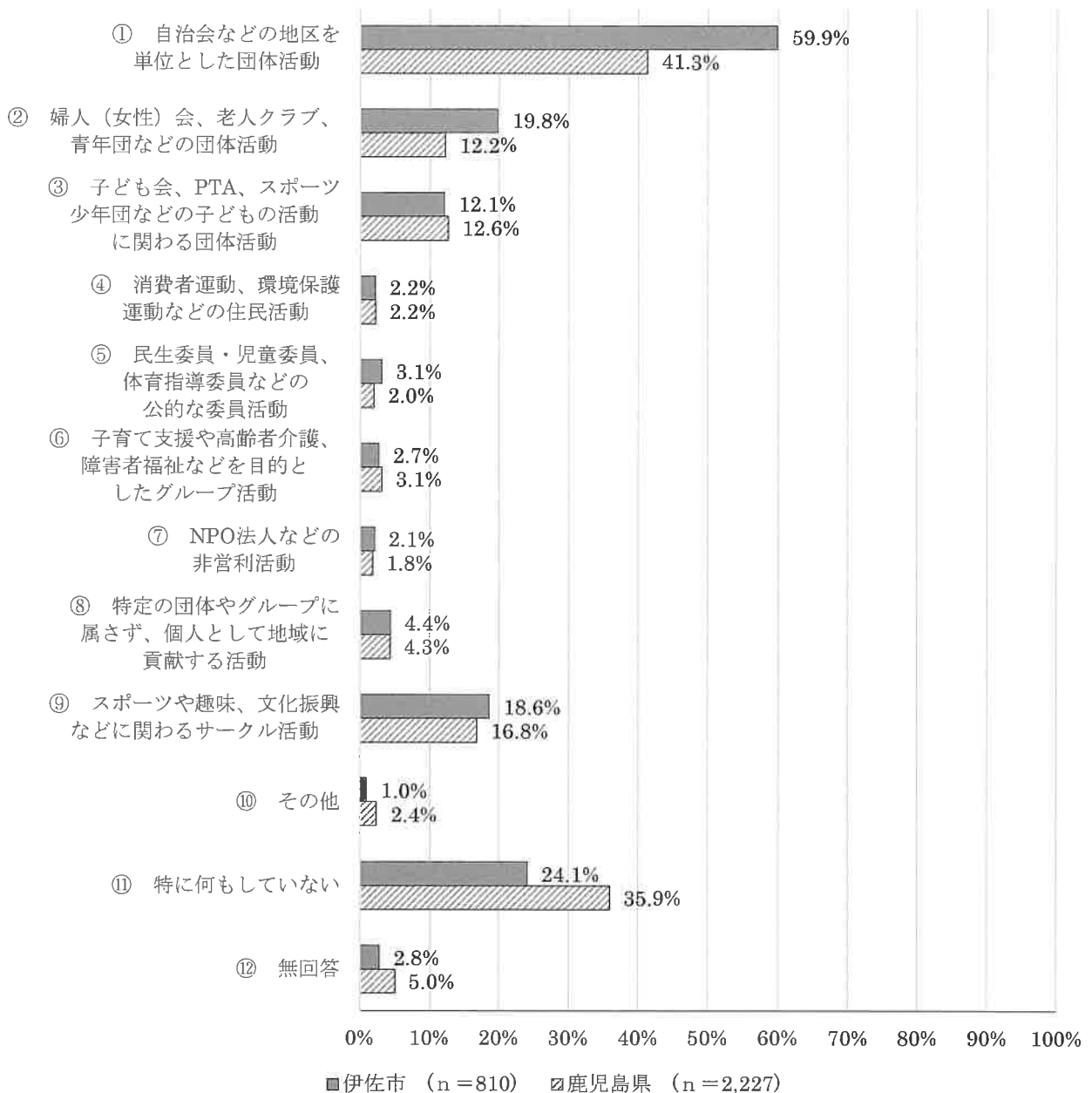
## ⑤ 仕事と家庭・地域への取組について

問 13 あなたは、現在、次のような地域における活動に参加していますか。  
(いくつでも選択)

地域における活動への参加について、「自治会などの地区を単位とした団体活動」(59.9%)と答えた割合が最も高く、次いで「特に何もしていない」(24.1%)、「婦人(女性)会、老人クラブ、青年団などの団体活動」(19.8%)、「スポーツや趣味、文化振興などに関わるサークル活動」(18.6%)の順となっている。

鹿児島県と比較すると、「自治会などの地区を単位とした団体活動」と答えた割合は、伊佐市の方が18.6ポイント高くなっている。

地域における活動への参加状況 【県との比較】



性別で見ると、男女とも「自治会などの地区を単位とした団体活動」と答えた割合が最も高くなっているが、男性（70.1%）が女性（51.4%）を18.7ポイント上回っている。

性別、年代別で見ると、40歳代から60歳代の女性、40歳代以上の男性で「自治会などの地区を単位とした団体活動」と答えた割合が高くなっている。また、「特に何もしていない」と答えた割合は、男女とも20歳代が高くなっている。

#### 《その他の回答》

- 消防団。
- 稲作グループ役員。
- 農業組織（中山間）会長。
- 水土里ネット。
- 読み聞かせボランティア。
- 建築士会。
- 親戚の空き家管理、地域道作業等。

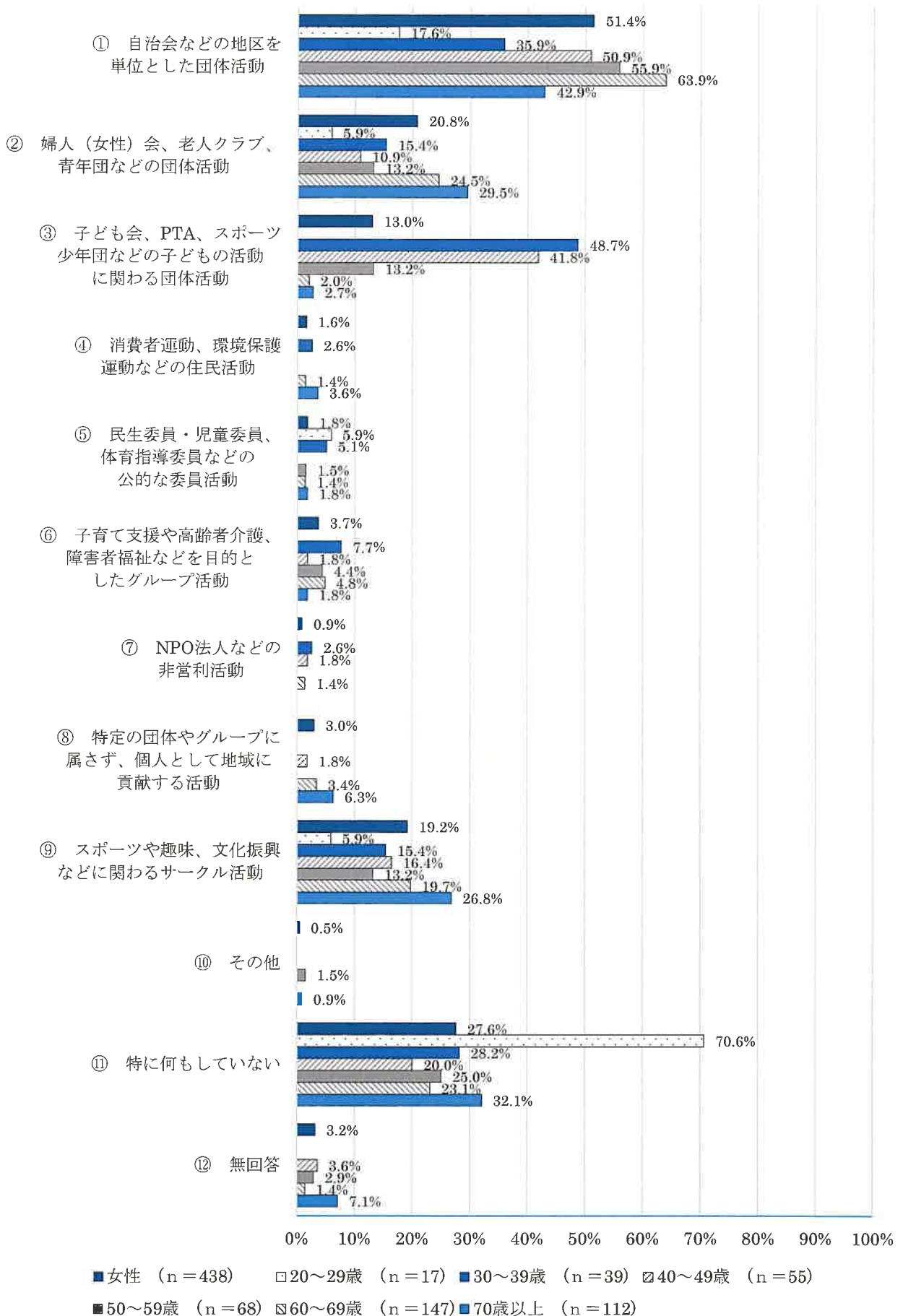
#### 《「特に何もしていない」理由》

- 仕事が忙しく、時間がない。
- 自営業のため。
- 特殊勤務により、日時が特定出来ない。
- 変則勤務と、体力がないため。
- 仕事をしつつ、サブワークの準備等に忙しく、ヒマがない。
- 仕事と子供の学校関連の所用にほぼ時間をとられる。
- 趣味で忙しい。
- 自分のことで、忙しくしている。
- 学生だから。
- 気軽に参加できる活動がない。
- 参加できる物が特にない。
- 参加する機会がない。
- あまり興味がない。
- 参加するメリットが見つからない。

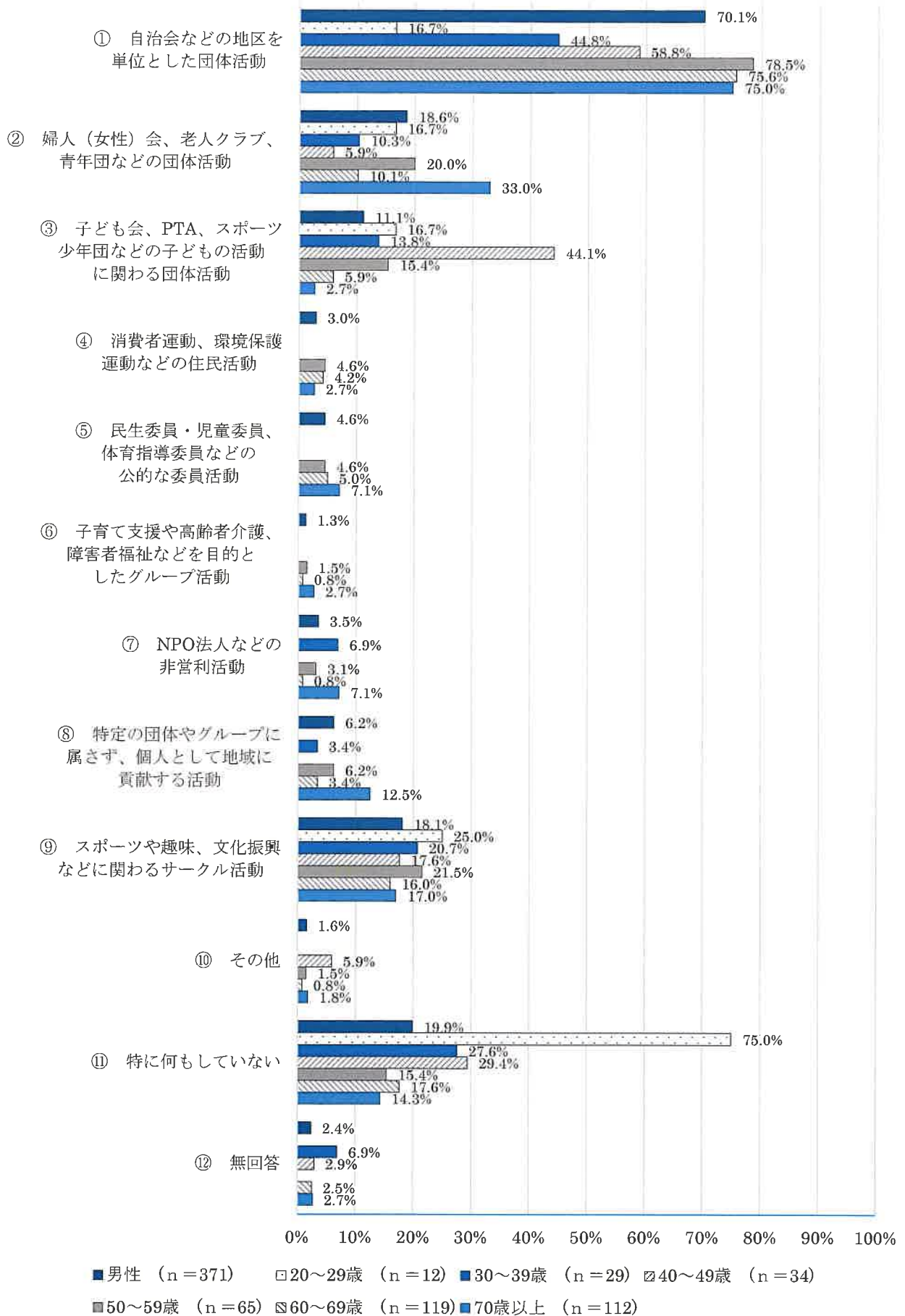
- 自治会の清掃には参加しているが、自分に向いているグループ活動がない。
- 時代背景が変わったので必要ないものがあると思う。意欲をもって参加したいものがない
- 病気のため。
- 体力的に、何かに参加したい気持ちはありますが、体が思うように動きません。
- 脳梗塞をして、左手足が悪いのでどこにも行かない、ただリハビリに行ってるだけ、誰にも会いたくないです。
- 障害者。
- 高齢のため。
- 在宅で介護を行なっているため、無理。
- ペットの世話をしているため、今はできない。
- 生活困窮
- 自治会未加入、子供も成人、仕事(ダブルワーク)で8:00~22:00まで働いているため。
- 自治会には加入しているが単身赴任のため週末は不在。(活動以前に、自治会員と顔を合わす機会がない上に名前も覚えていない。)
- 対人関係。
- 県外出身者のため知人が少ない。
- 引越してきた。
- 転勤族。
- 地域をよく知らないからです。
- 参加の方法がわからない。
- 活動の内容と場の情報がなく、よくわからない。
- 「スポーツ、趣味、文化振興」に興味があるが、どのようなものがあるのか分からない。
- 子育ても終わり、これから趣味等がかかわりたい。
- 退職する迄は、地元に住居する時間が少なかった。
- 何もしたくない。
- 面倒。
- 子どもが小さいため。
- 参加しようという意識が無い。

- 家族がやっている。サポート。
- スポーツ少年団に行っていたが、保護者のかげ口が多かったので、やめた。(保護者たちとモメて、子どもたちが少年団をやめさせられないように。)
- 要請があればする。
- 今はない。依頼されたら断らないが。
- 気分が向いた時に少し、手助けするくらい。

地域における活動への参加状況 【女性、年代別】



地域における活動への参加状況 【男性、年代別】



【問 13 で「①」～「⑩」を選んだ方にお尋ねします。】

問 14 あなたが地域における活動に参加するなかで感じている、活動のやりがいや苦勞していることなどがありましたら教えてください。

活動のやりがいなどの回答件数は、289件であり、そのうち主なものを掲載した。  
( )内は、当報告書に掲載した件数。

[活動のやりがい] (45件)

《人とのつながり、ふれあい、仲間づくり》 (15件)

- 地域の活動に参加することで、地域に溶け込み人の輪が広がる。(男性、40～49歳)
- ロータリークラブの青年会員として5年間活動しています。18～30歳が対象ですが、街に若い人自体が少なかったり興味をもつ人が少なかったり…特にIターン・Uターンしてきた若い人は地域とのつながりをつくる良い機会になるのですが(私自身がそうなので)そういう人に出会うのが難しいです。逆にそういう人に参加してもらって伊佐がもっと好きになったとか、友人ができて良かったと言われると嬉しいです。(女性、20～29歳)
- 地域住民とのコミュニケーションの場となっている。(女性、60～69歳)
- 人とのふれあいで自分自身が活性化できる。(女性、60～69歳)
- 交流ができる。(女性、20～29歳)
- 参加する事で、地区の皆様と交流がもてて、良かったです。(女性、60～69歳)
- 交流する中でそれぞれの思いや知識など共有できる。(女性、60～69歳)
- 車ですれ違うだけの生活の中では、コミュニケーションも図られ日頃聞けない話等もあり、中々楽しい。曜日や時間設定等が人それぞれで苦勞する。(男性、50～59歳)
- 地域の人々と交流することができる。(女性、30～39歳)
- 同じ趣味をもつ人どうしで、話しがはずむ。(女性、60～69歳)
- 活動に参加する事によって、皆さんのパワーをもらい、いつまでも元気で楽しく生きる事を心がけております。(女性、60～69歳)
- 様々な年代や職種の人々が集まることで、活動の中でいろんな話しが聞けたりできることがいい。(女性、30～39歳)
- 老若男女、みなさんが、やさしく接してくれています。(女性、30～39歳)

- 横のつながりができることがいいと思う。人を知っていることは、宝だと思うから、ネットではない情報が得られる。(女性、50～59歳)
- いろいろな人とのコミュニケーションがとれて、活動範囲が広がりより一層、地域の活性化につながっていると思われます。(男性、70歳以上)

#### 《子どもとのふれあい、子どもが喜ぶこと》(3件)

- 子供たちと接することができ、やりがいを感じる。自分には子供はいませんが、他人のお子さんも大切だと感じられます。そのおかげで楽しくすごせます。(女性、50～59歳)
- PTAに、参加しています。子供たちのよりよい環境作りにやりがいを感じています。(女性、30～39歳)
- 現在、我々の花北地域には子供達が少なく毎年夏のラジオ体操参加には、花北を中心とする重留、市山、薬師ウッドタウン、田中などからも子供達が集まって来て体操をしています。菱刈小でも、朝の体操会で、前目を中心とする下手、徳辺などからも参加しています。何処の地域でも全体で体操会をしており、本城地域は小学校で、湯之尾地域はコミュニティ協議会で、大口東地域は大口東小周辺で伊佐市内それぞれの地域でも合同で展開しています。(男性、30～39歳)

#### 《活動自体の楽しみ》(7件)

- 趣味でパークゴルフ楽しんでます。月に4回位ですが健康になれる、のが1番です家族の為に少しでも元気になって暮らしたく思います。皆と逢って笑う事かな!!(女性、70歳以上)
- 楽しい時間があるので有難い。苦労はありません。(女性、70歳以上)
- パークゴルフ、100人前後の人数で毎月4、5回の試合があります。1回の試合で4千歩くらい歩くから健康に良いし。皆と会話が出来て、とても楽しい。(男性、70歳以上)
- 趣味のグループに参加しているが好きな分野であるため苦労とは思わないが、事務局をしている。忙しいが楽しい。(男性、50～59歳)
- 自分に合った事に参加出来るのは、ストレスにならない。(女性、60～69歳)
- 自分の為に、始めた趣味の中で、公の場で発表する事により自分も楽しみ、人々も楽しんでくれる事に、「やって良かった」と思います。(女性、60～69歳)



- 自分自身は、自治会の中で、役割を受け活動出来る事にやりがいを感じている。  
自治会での団体活動では、年々高齢化が進み参加者が少なく、参加した少数で分  
担する等苦勞がある。(女性、60～69歳)

#### 《地域貢献、社会貢献》(3件)

- 自営業のため日程調整がしやすいこともあり、参加することで学ぶことも多く、  
誰かの役に立てることに、やりがいを感じています。(女性、60～69歳)
- 自治会が必要としてくれていることが、嬉しく思います。(女性、50～59歳)
- 地域住民の為に、なっているという満足感。協力してくれる人が、限られている。  
(男性、60～69歳)

#### 《その他》(17件)

- 私の住んでいる地域では、様々な行事がありますが、年齢の高い方が積極的に参  
加して下さるので、いつも「すばらしい」と感じています。ある地域では、お年  
寄りの方は家から出ないと聞きますので、我が地域は、本当にすばらしいです。  
この先私も皆さんを見習って、できるだけ行事等に参加したいと思います。(女性、  
60～69歳)
- コミュニティ協議会のメンバー、スタッフ、(民生委員他)協力して下さり助って  
おります。また、鹿児島県難病支援ボランティアの一人として動いておりますが、  
やりがいを感じております。(女性、60～69歳)
- 気分転換。(男性、30～39歳)
- 結構、楽しくやっています。(男性、60～69歳)
- 皆さんの協力のおかげで、自治会活動もOKでした。(男性、70歳以上)
- 自治会の見守りや防犯など、全員が協力し合っている。地区内の状況が、よくわ  
かる。(男性、70歳以上)
- 子どもを支援する活動において、協力者が得られず、一人での運営には限界があ  
った。子どもの安全を考えて休止のやむなきに至る。短い取り組みではあったが、  
日々楽しく充実していた。また、子育て支援の大切さを痛感。(男性、70歳以上)
- 他県から、10年前に戻って来ました。不安はありましたが今は楽しくサークルで  
日々楽しく過ごしています。(女性、70歳以上)
- 会員は、活動に協力的である。(男性、60～69歳)

- 自治会役員で、現在、仕事での経験を生かして新しい考えを取り入れ皆に協力してもらっている。(男性、60～69歳)
- 引越して約2年目地域活動に積極的に取組たく活動していますが、今は活動に参加する事が重要と思って努力しています。地域の方々がやさしくてやりやすいですよ。(男性、70歳以上)
- いろいろな活動に参加する中で、たくさんの人と知り会え、勉強になっています。地域の方々からは、頑張っていると言われ、意見を尊重される事もあります。家を空けることが多く食事の仕度等、時間に追われる事がある。(女性、40～49歳)
- 自治会内で村づくり会に加入し、年に4回くらい、若い人達が集り料理を作り、皆んな集りもてなしてくれて、非常にいい事だと思う。(女性、70歳以上)
- 地域を盛り上げるのは、国でも県でも市でもない、そこに住んでいる人たちです。積極的に参加することで盛り上がりますし、新しい人との出会いもあります。そして、育ててもらった地元への恩返しになると思っています。(男性、20～29歳)
- 自治会の行事も少ない為、助かります。(女性、40～49歳)
- 時になく全てにおいて周りの人からも協力を頂いている。(女性、30～39歳)
- 活動は、別に、そうじ、草刈などですが、時間的に早朝7時～など、早い時間で助かっています。(女性、60～69歳)

[苦勞していること] (150件)

《少子高齢化、過疎化の影響》 (60件)

- 参加人数が少ない！(男性、50～59歳)
- 地域住民が高齢化しているため、清掃・草刈等は、固定化された人員のみで行っている。(男性、50～59歳)
- 集合団地に住んでいますが、いろいろな行事に協力的な人は、決まっています。もっとみんなで協力できれば良いのかなァと…。(女性、40～49歳)
- 活動は自由参加にしているが、参加する人は決まっている。出ない人にも来てもらい、皆の地域を作っていることを自覚してもらいたいが、人それぞれである。自分の将来にかかわることであることを知ってほしい。(女性、60～69歳)
- 参加者を集める事に、苦勞しています。(女性、60～69歳)
- 自治会へも加入しない人が増え、地域活動への参画が少なくなっており、機能していない部分がある。(男性、50～59歳)

- 若者(60才以下)がいない。単身若者は自治会活動に参加しない。(男性、60～69歳)
- 地域活動をするなかで、参加人員が少ない、地域が衰退する中で、何故積極的に参加しなければいけないのか、理解していないと思う。機会があれば、教育等実施してほしい。(男性、60～69歳)
- 団体活動に参加してくださる方が少ない。参加してくださる方は決っている。(女性、70歳以上)
- 私の居住する自治会には、色々な地域活動があるのですが、一昔にくらべ行事などは高齢化などにより減らされ、地域の人々と交流も無くなり活動に参加するといつも同じ顔ぶれで、若い方々は仕事を理由に、なかなかです。地域の活動を他人事の様に思い参加して貰えない事に苦勞します。(女性、60～69歳)
- 子供の活動等において、親が面倒らしく参加しなくなっている。(男性、20～29歳)
- 地域の女性部の活動をしていますが、全員が参加するのは難しいです。若い人は、仕事をしていて、高齢の人は体が悪いなどあって、なかなか活動に参加できないようです。(女性、60～69歳)
- 地域の参加及び活動する人にかたよりがあある。(男性、50～59歳)
- 集りが悪い。参加者が片寄り。目的によっては、団体活動は、協力的で集りが良い。(女性、50～59歳)
- 地域の行事や会等への参加者が少なくなっている。(女性、60～69歳)
- 参加する人が、少ない。(女性、40～49歳)
- 独居老人の方にサロンを誘っても、参加が少ない。(女性、60～69歳)
- 地域全体の高齢化。(男性、60～69歳)
- 自治会の戸数が減ってきており、高齢者が大半の為どうしても行事への参加が出来なくなっている。(男性、50～59歳)
- 自治会などでの作業等に参加するたび高齢化を感じます。参加者が少なくなったナー。なので昔より活動が減ってきている。(女性、60～69歳)
- 高齢者がほとんどの為、建設的な意見が出ない。(男性、60～69歳)
- 自治会員の高齢化で、共同作業等に時間がかかったり危険と思うことがある。(女性、60～69歳)
- 参加者の高齢化により、参加者の減少、活動の範囲が年々狭くなって来ている、又、参加者には活動の負担が重荷になっている部分も多い。(男性、70歳以上)
- 高齢化が進み、活動等参加者が少数になってきた事。(男性、70歳以上)

- 自治会の高齢化で人数不足の為個人の仕事がふえる。(男性、40～49歳)
- 高齢者が多い自治会。自治会の奉仕作業等、高齢を理由に動かない人が、多くなりつつある。(それぞれ家の仕事は、良く頑張っている。)(女性、60～69歳)
- 高齢化が進み地域活動も難しく参加する方も少なくなっています。(女性、70歳以上)
- 高齢化により清掃作業に参加する人が少なくなっているのも、大変になっている。(男性、50～59歳)
- 高齢化が進み人口も減少していること。(女性、50～59歳)
- 高齢者になると車に乗らなくなるのでやりたくても参加できない状況にある。(女性、50～59歳)
- 年を重ねると身体がつかれる。(男性、70歳以上)
- 高齢化の為、自治会の役員運営が難しい。(男性、70歳以上)
- 参加されない方が多い中で、これからの高齢化社会を支え助け合う地域作りに不安がある。60代の方の無関心さが残念である。(男性、50～59歳)
- 地区によっては、高齢者が多くて、若い人達(子持ち)の人に、いろんな係が強制的にまわってくる。(女性、40～49歳)
- 高齢者がふえて無理がきかなくなった。防犯大会などの選手選別に苦勞する。(男性、60～69歳)
- 高齢者家庭が増え、一人世帯が増えた事。(女性、60～69歳)
- 地域の高齢化。自治会へ加入しない人が増加していること。このままでは、公民会活動が難しくなると思う。女性、60～69歳)
- 高齢化が進みまた、自治会に参加できる人数もへり、一人一人の負担が増えている、または、今後増える可能性がある。同じ伊佐市内でも、町の方と比べると、格差を感じすぎる、活動費等、支援を考えてほしい。特に、草払い、奉仕作業など町に比べると範囲も広く、今後無理になっていくのでは。(男性、30～39歳)
- それぞれ高齢になり、色々なボランティアに出席できない。(女性、70歳以上)
- 高齢者が多い。若者の負担が多い(夏場の草刈り)。自分の地区に未来みえない。(男性、30～39歳)
- 高齢化して、若い人がいないため、何をすることも大変です。(女性、20～29歳)
- 高齢化、少子化、行事への参加が少ない。(男性、60～69歳)
- 少子高齢化・過疎化。(男性、50～59歳)

- 高齡化や1人暮らしに、及び体力の減退。(女性、70歳以上)
- 会員減少、高齡化により自治会等の奉仕作業など効率が悪く、動ける人への負担が大きくなっている。コミュニティ行事など、自治会員の参加人数を満たすのに苦勞する。(男性、60～69歳)
- 高齡化で、奉仕作業等参加を呼び掛けづらく、自治会内での草払い等、協力してもらえない。(女性、60～69歳)
- サークル活動等は、高齡者が多く、若い人達の活動が少ないのが現状。(女性、60～69歳)
- 人数が少ない。色々と話が長く、時間がかかる。(女性、60～69歳)
- 美化作業で、草払い作業などが大変である。(女性、70歳以上)
- 地域における人口減。若い人の働く場所が少いため地域に人が残らない。人口減による自治体の消滅と自治体の再度合併が起きる懸念。子供の減少による、地域活動への弊害が出てくるのではないか。(男性、60～69歳)
- 少子高齡化の為、何に対しても働き盛りの世代に負担がかかる。(女性、40～49歳)
- 若者が少なく大変だ。(男性、60～69歳)
- 地域の活動に対し若い人の賛加が少ない。(女性、70歳以上)
- 地域に子供が、いなくなっている。(女性、40～49歳)
- 自治会では、子どもの人数が少なくなり、子供会の活動が自治会単体では、活動できなくなってきたこと。(女性、50～59歳)
- 年々活動出来る人が少なくなっている。(男性、60～69歳)
- 人口減少、特に水田の用水路の浚渫作業は自治会農家6名と入作農家3名ぐらいで実施しているが広範囲のため、とても人手が足りない。又、大きな水門(井堰)が3ヶ所あり、自治会農家6名でローテーションにより、管理しているが、管理を怠ると下流の大口市街に影響がでるため非常に苦勞している。(男性、50～59歳)
- 高齡者が多くなり、自治会の活動が難しくなりつつある事。サービス業で勤務の方が、なかなか参加できない事。(男性、50～59歳)
- 高齡者クラブに入ってますが、減る会員のスピードが増し、クラブ員の確保は困難のみ。老人クラブの行事もあり、参加依頼をしても身体の都合、入院生活とこのごろ特に多く、苦しいクラブ活動になっている。校区コミュニティ協議会、小学校、自治会それぞれの行事に対し、老人クラブとして参加協力を実行しているがメンバーは決まってしまっている。将来を考えると…。(男性、70歳以上)

- 全員の参加が出来ない。(男性、50～59歳)

《仕事との両立が困難》(15件)

- 日程調整・仕事の休みがとりにくい。(男性、40～49歳)
- 仕事とPTA・子ども会等の両立が大変で、休みが取りにくい。(職場)(女性、30～39歳)
- 自治会役員をする上で、会合や、自治会内の不幸時への参加が難しい。(休みを取れない)(男性、50～59歳)
- 会社員だと、中々自治会の役員は難しい。(男性、60～69歳)
- 仕事との、両立。(男性、40～49歳)
- 職場の休日の日しか、参加出来ない。(男性、50～59歳)
- 仕事の為に、積極的に参加出来ない事。(女性、50～59歳)
- 自治会などは、日曜日などに、行事を組んでいるが、スポーツや趣味など、平日に催される事が多く、仕事の兼ね合などで参加できない事が多い。(女性、60～69歳)
- 団体活動のため自分の仕事に障害が出る。(男性、60～69歳)
- 平日の活動の時、有休をとらないといけないのが、苦痛な時がある。(女性、40～49歳)
- 出来るかぎり参加する様にしているが仕事で出席出来ない事。なかなか職場を休んでまでは、参加が無理な時間がある。(女性、70歳以上)
- 活動に参加する意欲はあるが、仕事で休めないことが多く、あまり参加できていない。(女性、40～49歳)
- 働いている事で、行事の手伝いが出来なかつたりする。自治会全員の日程を合わせる事は困難なので、仕事で行事に参加出来なかつたり、参加に遅れたりする事が多々ある。自分の休みの日に行事があればいいけれど、そういうわけにもいかない。(女性、50～59歳)
- 仕事で、話し合い等に参加できない。休みに、清掃活動があり、休息できない。夏まつり(自治会)は子どもたちは喜んでいる。(男性、30～39歳)
- 働きながらやっているなので、就業時間など職場に気を使うことがある。他の職場などでも、理解があれば、活動人数が増え、意見や工夫することができ、より充実した活動ができるのではないかと思う。(女性、40～49歳)

《時間の確保が困難》（9件）

- 不規則勤務により、時間、交替者の確保が出来ない。特に、土、日曜の務め。（男性、70歳以上）
- 平日の夜などは、家庭がある主婦は、会に出席することが負担になる。（女性、40～49歳）
- 皆さんが地域活動参加されて頑張っている事は大変良い事です、私自身が現職で仕事中心になっていて、皆さんのされる事業にたまには協力したらと、妻は言います。時間の制約等にしばられる、自分だけなら良いとしても、働きに来てくれている人の事を考えなければならないのに、困ります。その為に出来る時間帯に、ちょっとした、ボランティアをえています。（男性、70歳以上）
- 会社の組織の中で仕事しているので、自分だけ日曜日を毎回休むことが出来ない。会社の状況によって、呼び出しがある、自治会の活動に専念出来ない。（退職したら活動出来る、定年で。）（男性、50～59歳）
- PTAで夜の会に出る回数が多いから大変です！（小学校から中学校はとくに忙しい）（女性、30～39歳）
- ふれあい講座の受講で、受けたい講座が、ほとんど、昼間の時間のものが多く、昼間働いている者にとっては、非常に残念です。（女性、70歳以上）
- 夜勤のある仕事の為、1か月先の予定が決まっておらず、急な予定がなかなか入れられない。子供の学校の行事を優先に休みをとるため、地域活動等は夜勤明けで対応するなど、自分の体を休める暇がない。コミュニティーの方々が、子供達のために毎月、様々な企画をして下さり、ありがたく思っています。（女性、40～49歳）
- 各地域における高齢者の方々が増え美化清掃など年々参加者減少傾向にある中、一部地区では、子供の部活送迎（試合）、仕事等の理由でどうしても80歳以上の高齢者の方々に頼る傾向が多いと耳にします。それが当たり前の様にならない為に良い対策を検討して下さい。（女性、50～59歳）
- いろんな活動をする中で、仕事をしている方が多く、なかなか動員がむずかしい。ほとんどの若い方、子育て中の方も仕事をしており地域活動、役など引き受ける方がいない。（女性、60～69歳）

《子育てとの両立が困難》（2件）

- 子供が小さく、夫も夜勤でいない時などの自治会会動が大変。そうじなどは早朝からで、罰金もある。1人で家には置いておけないので、もう少し理解して、対応してほしい。（女性、30～39歳）
- 日曜などに自治会で夫が仕事などでいない時に子どもをあずけられないので参加するのがなかなか難しい。（女性、30～39歳）

《人材（役員のなり手など）不足》（10件）

- 役員をする後継者不足（なり手がいない）（男性、40～49歳）
- 役員が隣番制で廻ってきます。仕方ない面もあるが、若い時は十分に活動できない部分もある。定年後まだまだお元気な方にいろんな役割をお願いできたら、助かると思う。（男性、70歳以上）
- 自治会の会長、副会長選出について自分の自治会では人選に苦勞している。一本釣りの方法ではなく、選出の仕方をシステム化したほうが時代の流れに合っているのではないかと感じている。（男性、50～59歳）
- 自治会活動において、急速な高齢化が進んでおり、役員等になる人が（辞退する人が多く）少なく、先細りが心配である。一方で市体協に属する、伊佐市パークゴルフ協会（現在約100名の会員）では、75才～85才までの元気な男女が積極的に（全体の30%以上）参加し、活動している。（男性、70歳以上）
- 地域の中での、人づくり、育成。（若い人達に対しての対応、愛情が特に大切であると考えています。）（男性、70歳以上）
- 若い人が少なく、ずっと役が回ってくる。若い人が少なく、組織の維持が厳しくなってくる。（男性、50～59歳）
- 自治会においては50代の男性に独身が多く自治会長を受けてもらえない。老人クラブにおいては役が回ってくると脱会する人が多い。（男性、70歳以上）
- 高齢化、人口減少等で、同じ人が多くのリーダー的役に付いている。（男性、60～69歳）
- 自治会役員や民生委員など地域や他人のためにでなく常に自分のためである自覚と、出来る人は進んですべきである。（男性、70歳以上）
- 自治会役員へのなり手不足。民生委員については、同じ人が長きにわたって務めている。自治会への未加入者対応。（男性、70歳以上）



《男性優位の風土》（1件）

- 女性は発言しにくい雰囲気がある。（女性、60～69歳）

《慣習の押し付け》（3件）

- 仕事を休んでまで活動する、金銭面での余裕が無い。草刈りなど、自前の機械等を使って行う奉仕作業（作業として金銭面で負担が多い）が自治会の慣例となっている事が多い。（男性、50～59歳）
- 昔の慣例で、係になるとあたり前のように休みの日、平日をあてなければならない。仕事現状が厳しい中、休みの大切さ、リフレッシュができない。（女性、50～59歳）
- 目立てば嫌がられ、少し控えるとコソコソ言われる。旧態依然としたやり方が継られて形骸化している。それを踏襲することが良とされる。（男性、70歳以上）

《女性の参加不足》（2件）

- 責任ある仕事は、主に男性にまかせて当然という考え。社会活動において、男性を表に出して女性は自らは出ようとししない。（女性、50～59歳）
- 高齢化が急に進み活動意識が低下して活気がなくなっている。女性の活動参加がもっと積極参加が望まれる。（男性、70歳以上）

《男性の参加不足》（2件）

- サークル活動では、なかなか、男親が出て来る機会がなく、男が少ないと、疎外感を感じる。（男性、50～59歳）
- いくつかのサークルに参加していますが、男性、若者が著しく少ないです。高齢者、女性の集まりが多いですね。（女性、70歳以上）

《その他》（46件）

- 最近、自治会に、家を建てて加入される方ほど、婦人会等の活動を今まで順番でまわってきて、みんな役員等を1回はしているのに、する前から平気で、やりませんと言う人が多い。（子供が小さいとか仕事が忙しいとか…。みんなそうだと思うのですが）（女性、40～49歳）
- 1人1人の考えが同じでない事でもめる事が有る。（男性、60～69歳）

- 活動など参加して一生懸命すると、いやみを言われたり、陰口を言われたりする事があるので、余り参加したくない時がある。男性も田舎は、大変です。特に女性は、田舎での活動は、大変です。(女性、70歳以上)
- <不安>障がい者学童保育や就労支援所などへの理解、諸活動参加の数がなかなか広がっていかない。(決まった人だけでやっている。)保護者の子育てに対する意識が「子どものためなら労を惜しまない」という考えより、例えば「自分(親)の都合が優先なので子どもへの労は最低限にとどめたい。」というような親中心の考えをする傾向が増えてきていて、子ども会、PTA、スポーツ少年団活動の維持がしづらい状況が増え始めていること。(女性、40~49歳)
- 家の周りの公的道路の除草、草刈り、無縁墓の清掃などしているが、空缶や買い物袋などのポイ捨てが多いなど公共(徳)心の欠如等が目立つ。(男性、70歳以上)
- 自分自身は「誰かがやらなければならない」と思い、活動に参加しているが「やりたい人がやればいい」という考えで、協力することに消極的な人が、活動に対し、異議をとることに残念な思いがある。逆に、思い入れが強すぎる人が、他との協調を忘れ、自分達の主張だけを通そうとすることも残念に思う。皆で一緒にやるという気持ちをもって欲しい。(男性、40~49歳)
- 自治会に参加しようとしめない若手層が多く、このままでは、自治会自体が近い将来崩壊する可能性がある。(男性、50~59歳)
- 小、中、高と外部指導(スポーツ)などをしてはいますが、特に、中・高の学校教員の地域活動等の考え方に考えさせられることが多い。参加、協力等が見られない。(男性、40~49歳)
- 若い人と年配の、活動に線引きがあるような、もう少し年配の人が参加出来る情報提供を。(女性、60~69歳)
- 仕事、家事、介護、孫の誕生などで、休みの日も忙しく、地域の活動の時間に、苦痛を感じることもある。しかし、地域活動の大切さも感じる。若い人が、少なくなり、簡素化していく必要があると思う。活動がないと顔を合わせることもない、話すこともないので助け合って生活する上で、地域活動は、大切である感じている。(女性、50~59歳)
- 自治会では、高齢者の方々の意見が中心で、ことなかれの感じで新しく変えようとの意見の持ち主がいらない。(女性、60~69歳)
- 声の大きい人の意見が優先される。(男性、60~69歳)

- 80才以上の高齢者が多く、強く主張されると自分の意見は遠慮する傾向があり、新旧入れかわらないとダメだという空気が漂っている。(女性、70歳以上)
- 活動への協力者が少なく、活動を休みにくい。自治会の行事が多い。(女性、40～49歳)
- 役員等の活動を行う時、他の役員が協力してくれず、責務を1人でかかえてしまった事がありとても苦労した。(女性、50～59歳)
- 地域活動離れがある(若い方)。自治会とのコミュニケーションをとらない。(女性、50～59歳)
- 年々、地域住民の高齢化が進む一方で、活動に参加する人が少なくなりつつあり、また、役員等の中心となる人の交代員がなかなか見つからない。他方、何にも参加しない家庭も増えてきている様なので、行政側からも、地域活動積極参加の呼びかけを強化していただきたい。(男性、50～59歳)
- 活動の情報発信の方法。興味のある人にしか届かない。(女性、40～49歳)
- 「組織があるから参加する」では意味がない。魅力ある活動にすることが大事。(男性、50～59歳)
- 自治会に入っていない人が多いので、協同作業に苦労する。(女性、70歳以上)
- 人まかせでは、自分が役員になった時に協力してもらえないので、やるべき事はやる。「できない!!」とか言って逃げる人がいるが、皆にやってもらわないと大変さがわからない。大変だという事がわかれば、協力者が増える。(女性、50～59歳)
- 自治会に加入しない若い人達。ゴミステーションに自治会以外からの分別されていないゴミの投棄。(男性、60～69歳)
- 地域活動、老人世帯が多く、どうしても若い人(75才～以下)が中心になり、活動量が多い。又、住宅が建っても自治会に入会せず、どうしても、負担が多い。若い人達も経済的負担が多いから、大変だとは思う。(女性、60～69歳)
- 地域の発展を考えているが、年配の方々との考え方の違い。(男性、40～49歳)
- 地域の活動は、新しくなっていない。(男性、50～59歳)
- 小学校のPTA活動で、不必要なものが多すぎる気がします。くじ引きで当たったのでしますが、すごく負担です！(女性、30～39歳)
- 昔からそこで生活している人の、発言が大きい。年をとったからと、若い人に役が回ってくる。(女性、50～59歳)
- 参加する場所がない。(女性、50～59歳)

- P T A やスポーツ少年団等、子供の活動場で、保護者がメインになっている事が多々ある。(女性、40～49歳)
- 様々な意見の取りまとめ。(男性、50～59歳)
- 自治会活動においては、力仕事もあり、女性には、その部分だけ、補助して下さる方があれば、(補助して下さるシステム規約など)女性も役員等引き受けやすくなると思います。(女性、60～69歳)
- 協力性。(男性、60～69歳)
- あ的那个人は、出るのが好きだからと言って批判する。活動にさそっても、家の事があるからと断る。(女性、60～69歳)
- 自治会員の高齢化で若い人に負担がかかっている。若い人が少ない。若い人の意識・知識不足を感じているが指導者がいない。(女性、60～69歳)
- 一人親なので、地域の活動時休みをとれない事がある。力仕事など、得意でない活動の時に困る。(女性、30～39歳)
- 自治会役員(評議員)をしている。他の地域活動を知る機会がない。(男性、50～59歳)
- 年代別間の相違。(女性、60～69歳)
- 高齢者が多くなっているのに、自治館(公民館)のバリアフリー化が進まないの、利用しづらくなっている。(靴のままでの集会できる事、ほとんどが畳式)(男性、60～69歳)
- 活動に参加したいと思う気持ちはありますが、現在は病気をしたり物事に対して動きがとても遅くて地域の人々の足手まといに成ります。正直に云って、全部の質問に戸惑いを感じ乍ら答えを書きました。(女性、70歳以上)
- 生活におわれているのか朝夕の会話が少ない。(特に若い家庭)(男性、70歳以上)
- 空家！空家が増加、環境保全の問題。病院や買い物等の不便が生じている。(交通)自治会役員、老人クラブ等の役職になろうとしない。(男性、70歳以上)
- 美化作業とかの場合、ほとんどが高齢の方々で若い方(それでも50～60代)に負担が多いと感じる。やりがいか、苦勞している事ではなく、増々過疎な地域となっていく事への不安です。伊佐市の市道と言われている道路の美化作業は行政でできないでしょうか。(女性、60～69歳)
- 集会所がないので、自治会の参加者の交流がとりづらい。年配者が多いので自治会の役員をする人が少ない。(男性、50～59歳)

- 活動資金が無い事、時間、ゆとりがない事。(男性、70歳以上)
- ②～⑨については、自分は積極的な性格でもないし、いろいろな人と接するのが苦手で難しいです。(男性、70歳以上)
- まったく関心がない人があまりにも多い。(年齢が高いので)参加する人がかぎられている。女性の人が多く出席され、男の方の作業が多いときは大変。(男性、70歳以上)

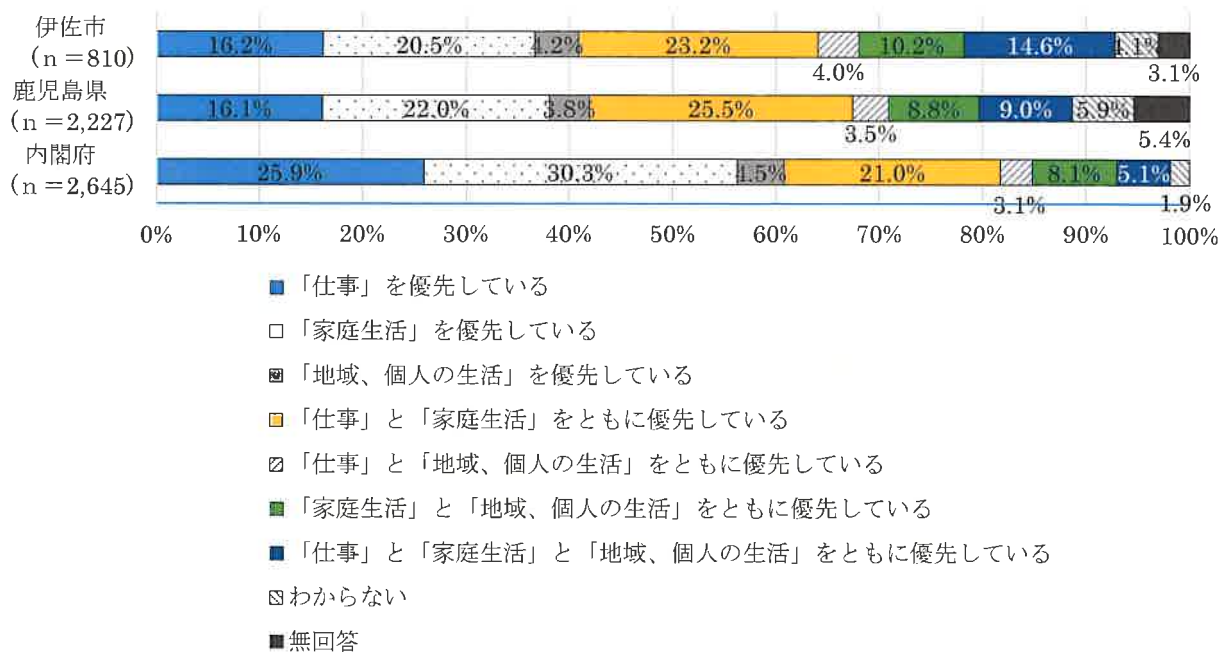
問 15 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域、個人の生活」（地域活動、学習、趣味、付き合い等）の優先度について、あなたはどのようにお考えですか。  
（現状に近いものを、1つだけ選択）

生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域、個人の生活」の優先度（現状）について、「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」（23.2%）と答えた割合が最も高く、次いで「家庭生活」を優先している」（20.5%）、「仕事」を優先している」（16.2%）の順となっている。

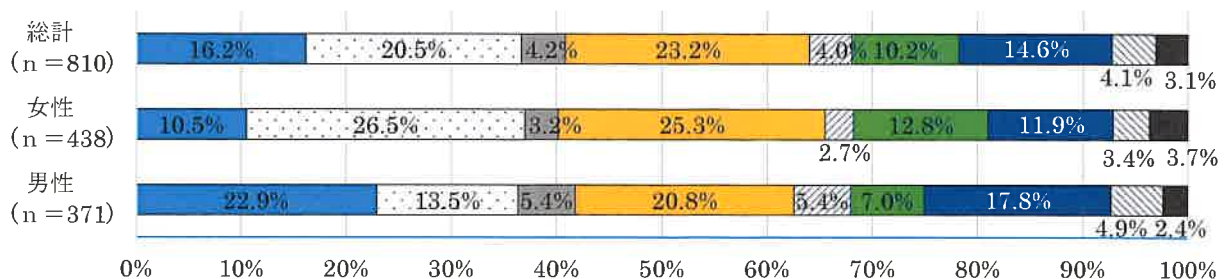
鹿児島県と比較して、大きな差はみられない。

内閣府と比較すると、「仕事」を優先している」と答えた割合は、9.7ポイント、「家庭生活」を優先している」と答えた割合は、9.8ポイント、伊佐市の方が低くなっている。

仕事、家庭生活、地域活動の優先度（現状） 【県等との比較】



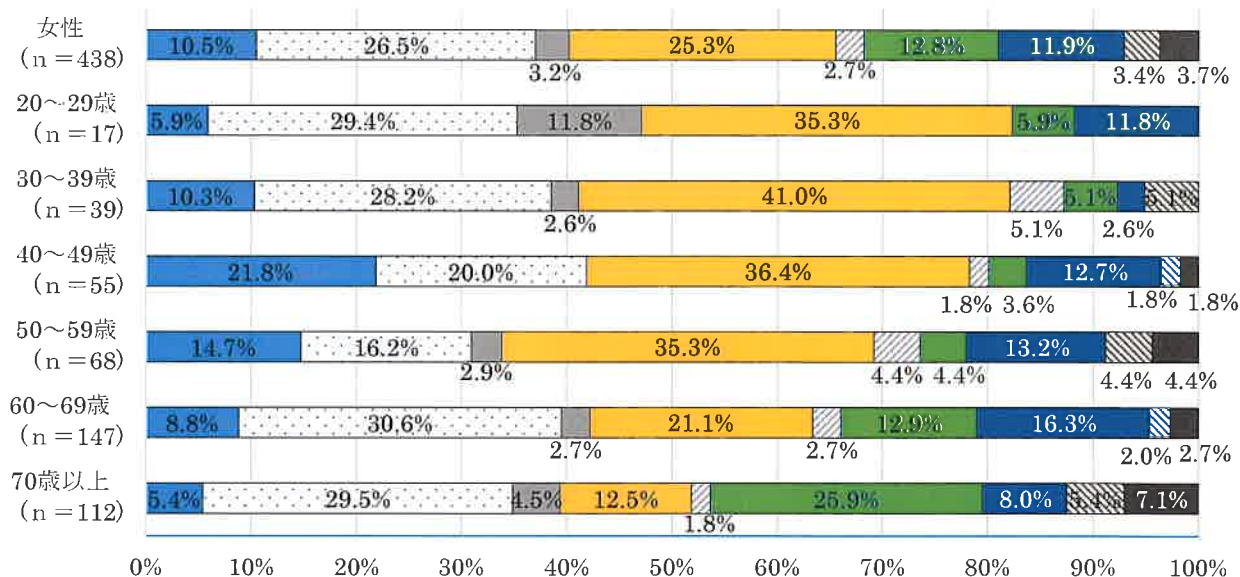
仕事、家庭生活、地域活動の優先度（現状） 【性別】



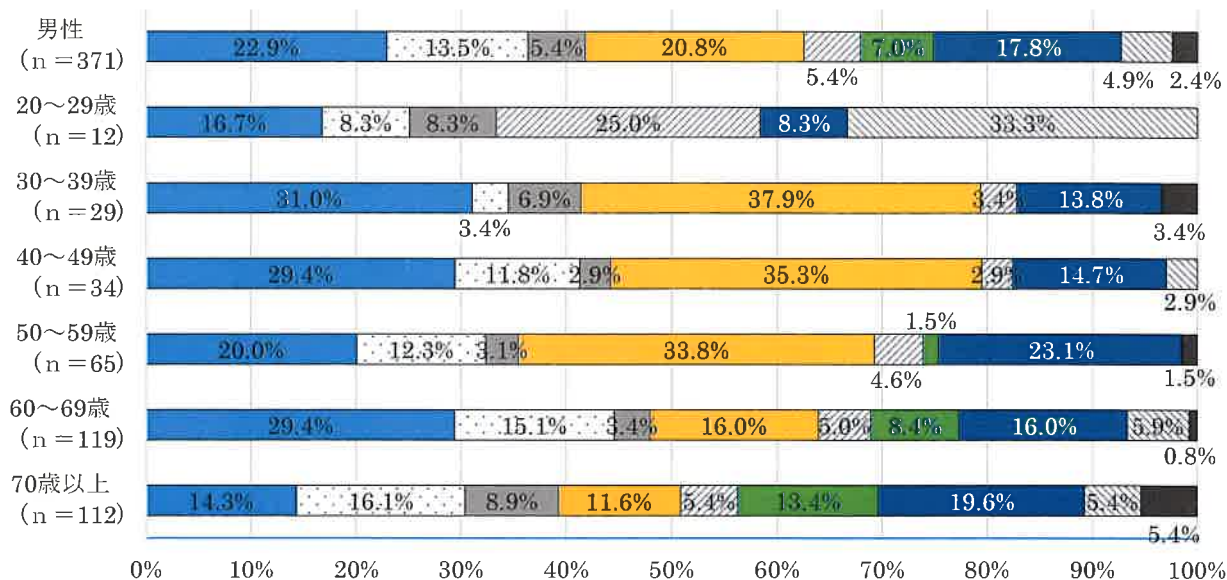
性別で見ると、女性では、「家庭生活」を優先している（26.5%）と答えた割合が、最も高くなっているが、男性では、「仕事」を優先している（22.9%）と答えた割合が、最も高くなっている。

性別、年代別で見ると、全ての年代で、「仕事」を優先している」と答えた割合は、女性より男性が高くなっており、「家庭生活」を優先している」と答えた割合は、男性より女性が高くなっている。また、30歳代から50歳代の男女とも、「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」と答えた割合が、3割～4割となっている。

仕事、家庭生活、地域活動の優先度（現状）【女性、年代別】



仕事、家庭生活、地域活動の優先度（現状）【男性、年代別】



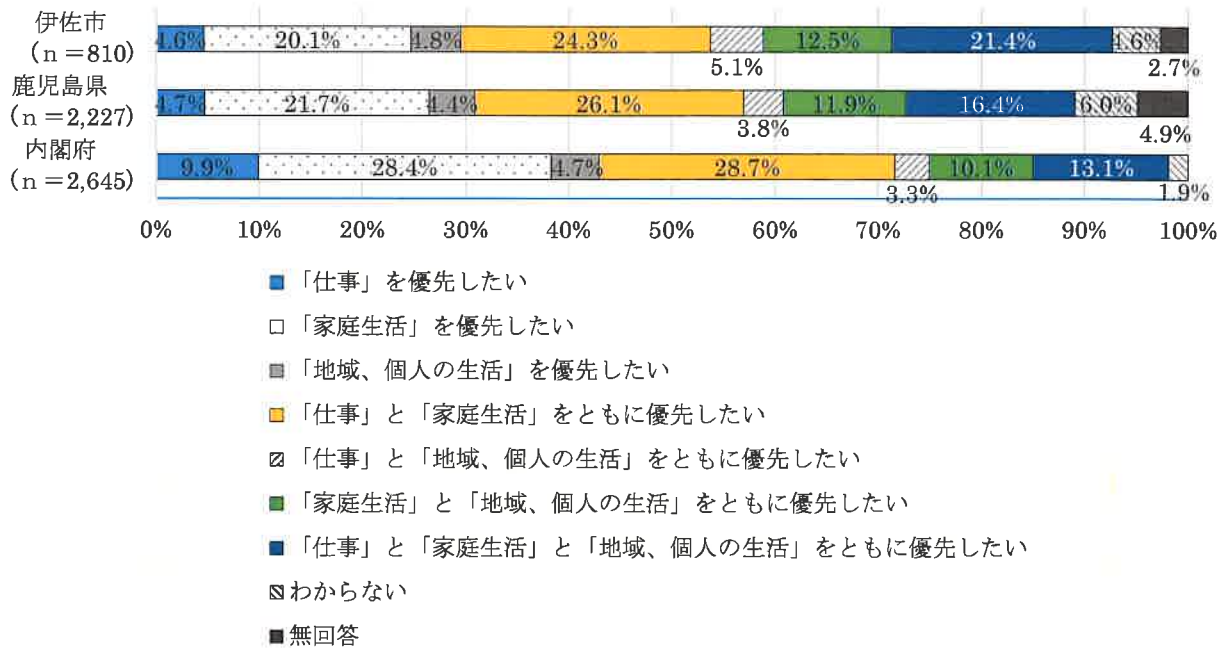
問 15-1 それでは、あなたの希望はどれに当てはまりますか。(1つだけ選択)

生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域、個人の生活」の優先度（希望）について、「「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」（24.3%）と答えた割合が最も高く、次いで「「仕事」と「家庭生活」と「地域、個人の生活」をともに優先したい」（21.4%）、「「家庭生活」を優先したい」（20.1%）の順となっている。

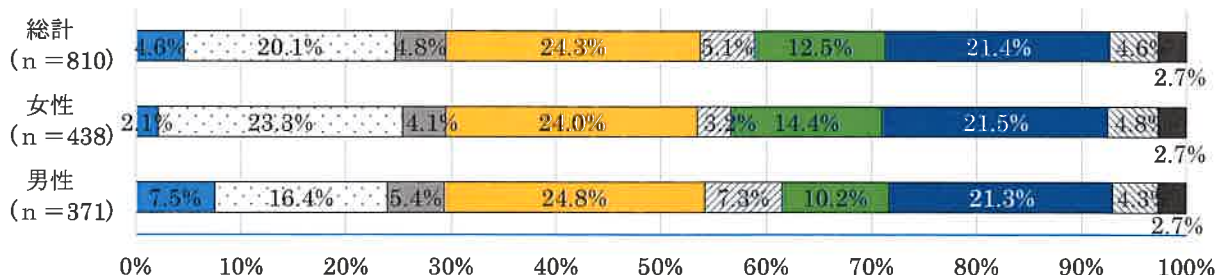
鹿児島県と比較すると、回答割合の高い順から2番目と3番目の回答が、逆になっている。

内閣府と比較すると、「「仕事」と「家庭生活」と「地域、個人の生活」をともに優先したい」と答えた割合は、伊佐市の方が8.3ポイント高くなっている。

仕事、家庭生活、地域活動の優先度（希望） 【県等との比較】



仕事、家庭生活、地域活動の優先度（希望） 【性別】

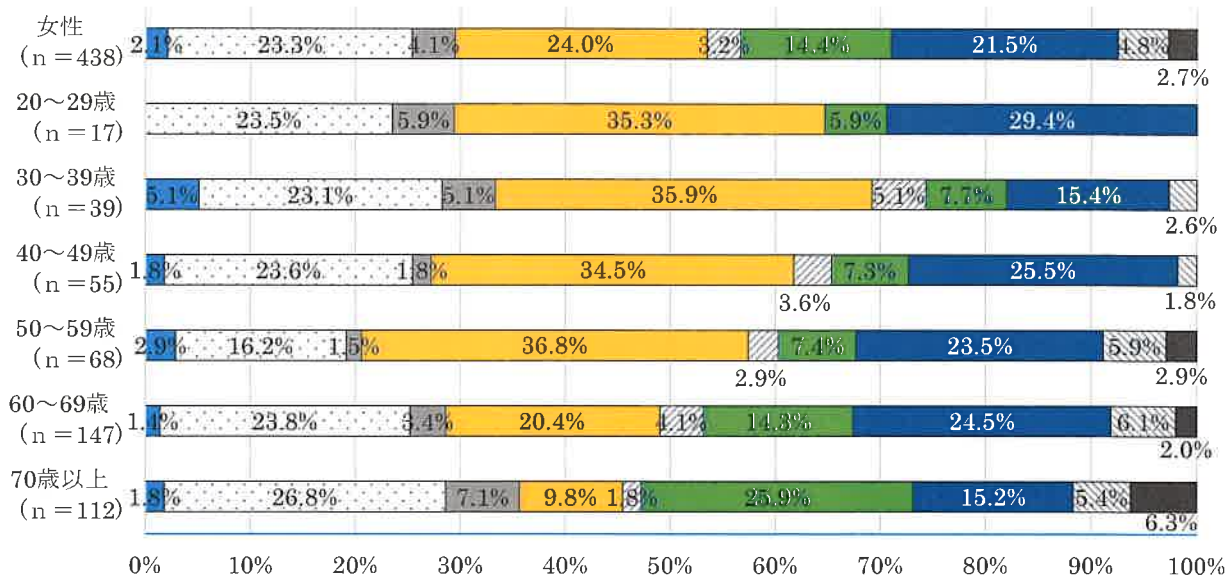




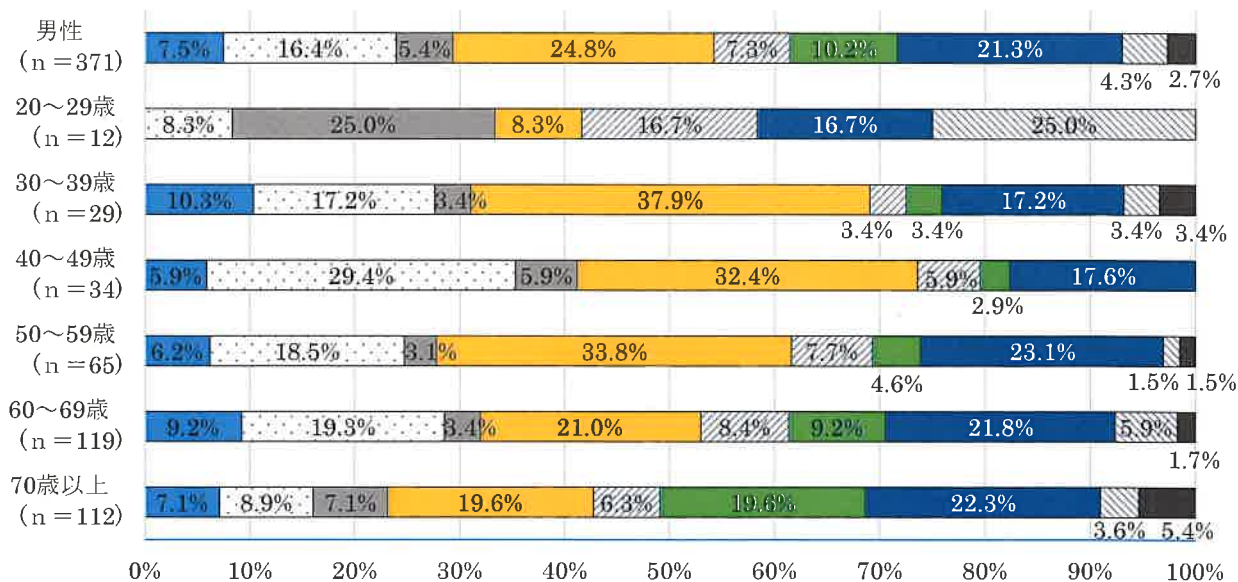
性別で見ると、男女とも、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい（女性24.0%、男性24.8%）と答えた割合が、最も高くなっている。

性別、年代別で見ると、30歳代から50歳代の男女とも、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」と答えた割合が最も高くなっている。また、30歳代の男性を除く男女全ての年代で、「仕事」を優先したい」と答えた割合が、1割未満となっている。

仕事、家庭生活、地域活動の優先度（希望）【女性、年代別】



仕事、家庭生活、地域活動の優先度（希望）【男性、年代別】



問 16 あなたは、今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(3つ以内で選択)

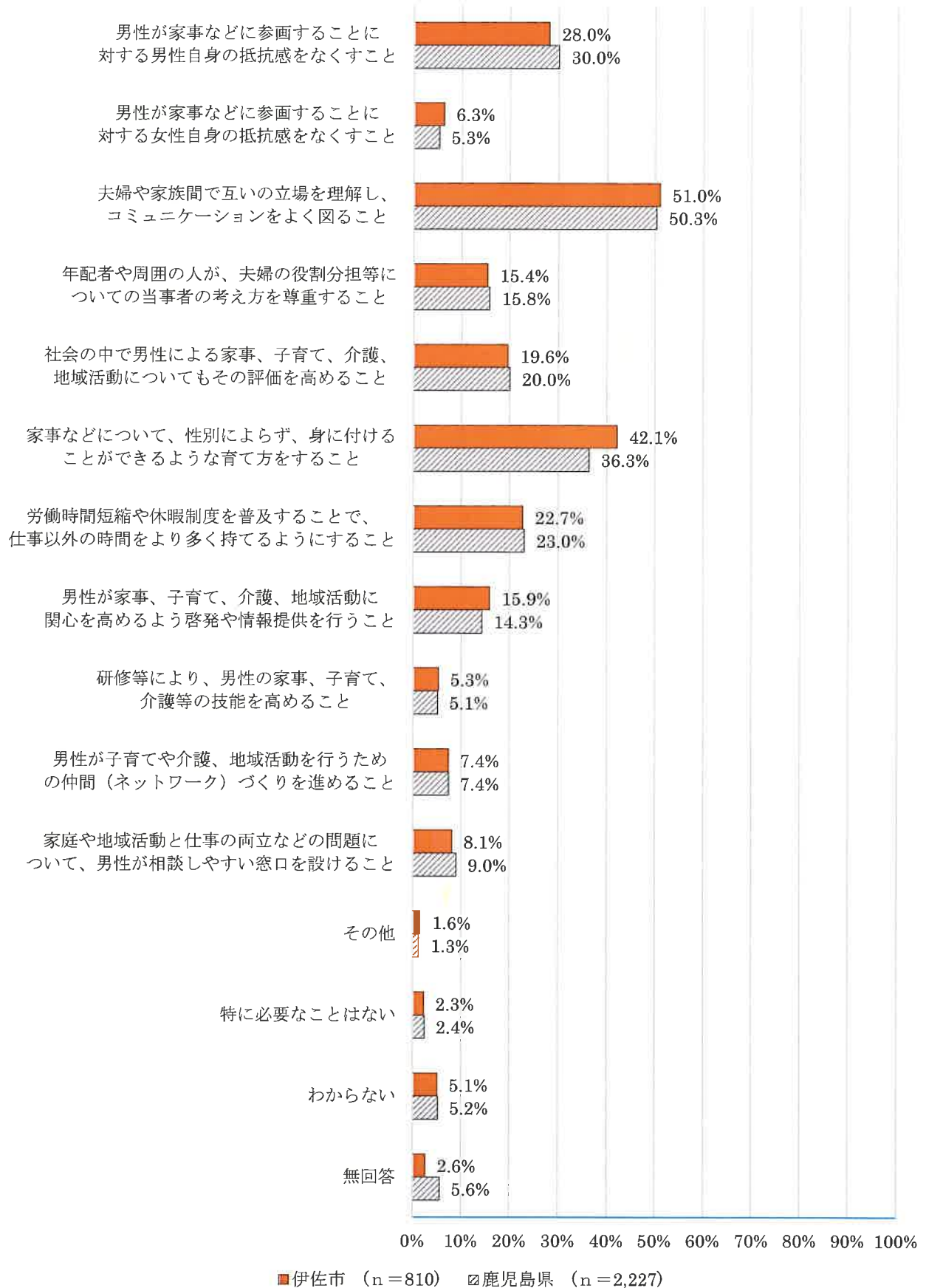
男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なことについて、「夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよく図ること」(51.0%)と答えた割合が最も高く、次いで「家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること」(42.1%)、「男性が家事などに参画することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(28.0%)の順となっている。

鹿児島県と比較すると、「家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること」と答えた割合は、伊佐市の方が5.8ポイント高くなっている。

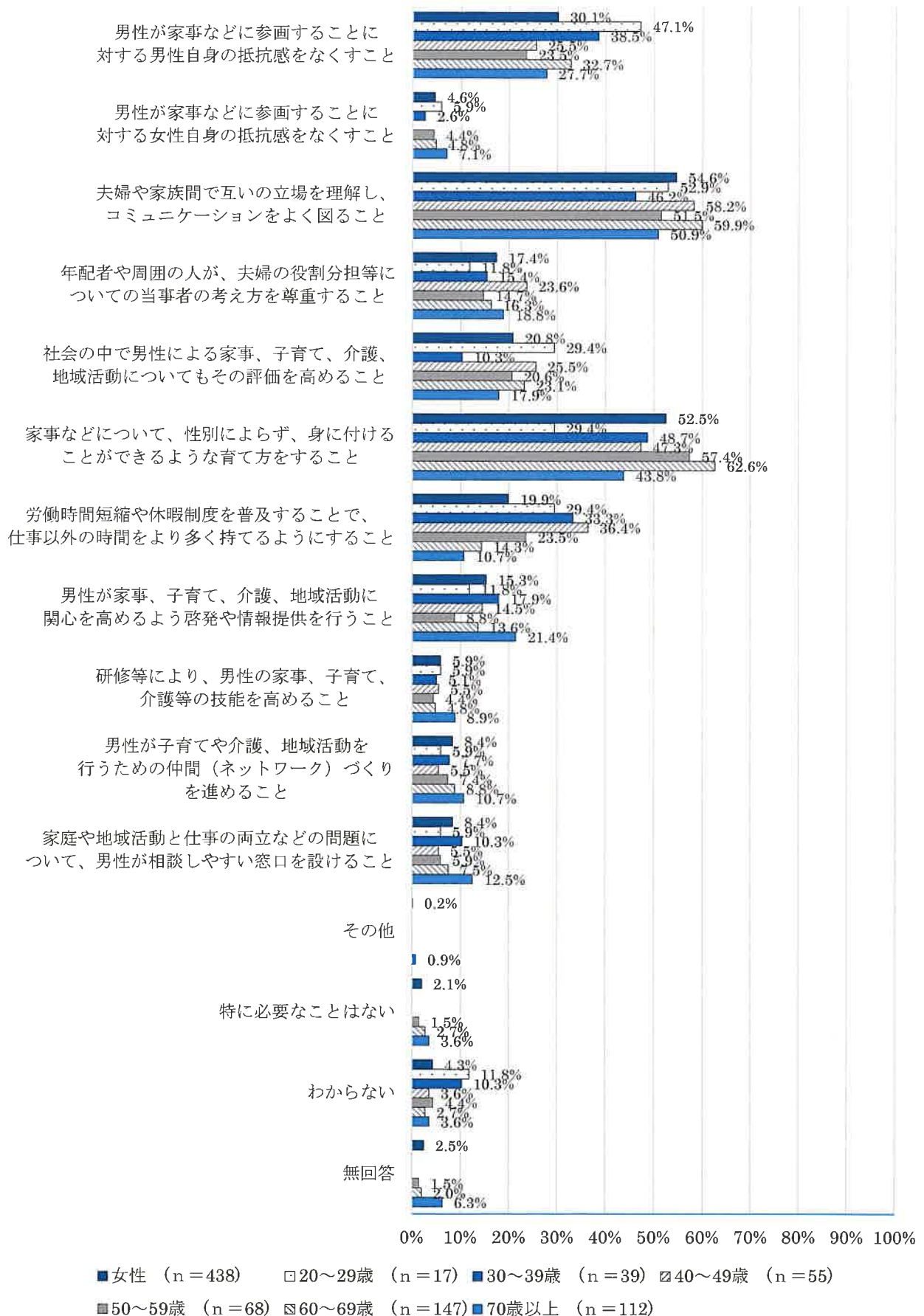
性別で見ると、女性では、「夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよく図ること」と答えた割合が最も高く、次いで「家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること」となっているが、どちらも約5割となっている。また、男性も同様の回答の順となっているが、「家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること」と答えた割合は、男性より女性の方が22.9ポイント高くなっている。

性別、年代別で見ると、50歳代及び60歳代の女性では、「家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること」と答えた割合が約6割と高くなっている。

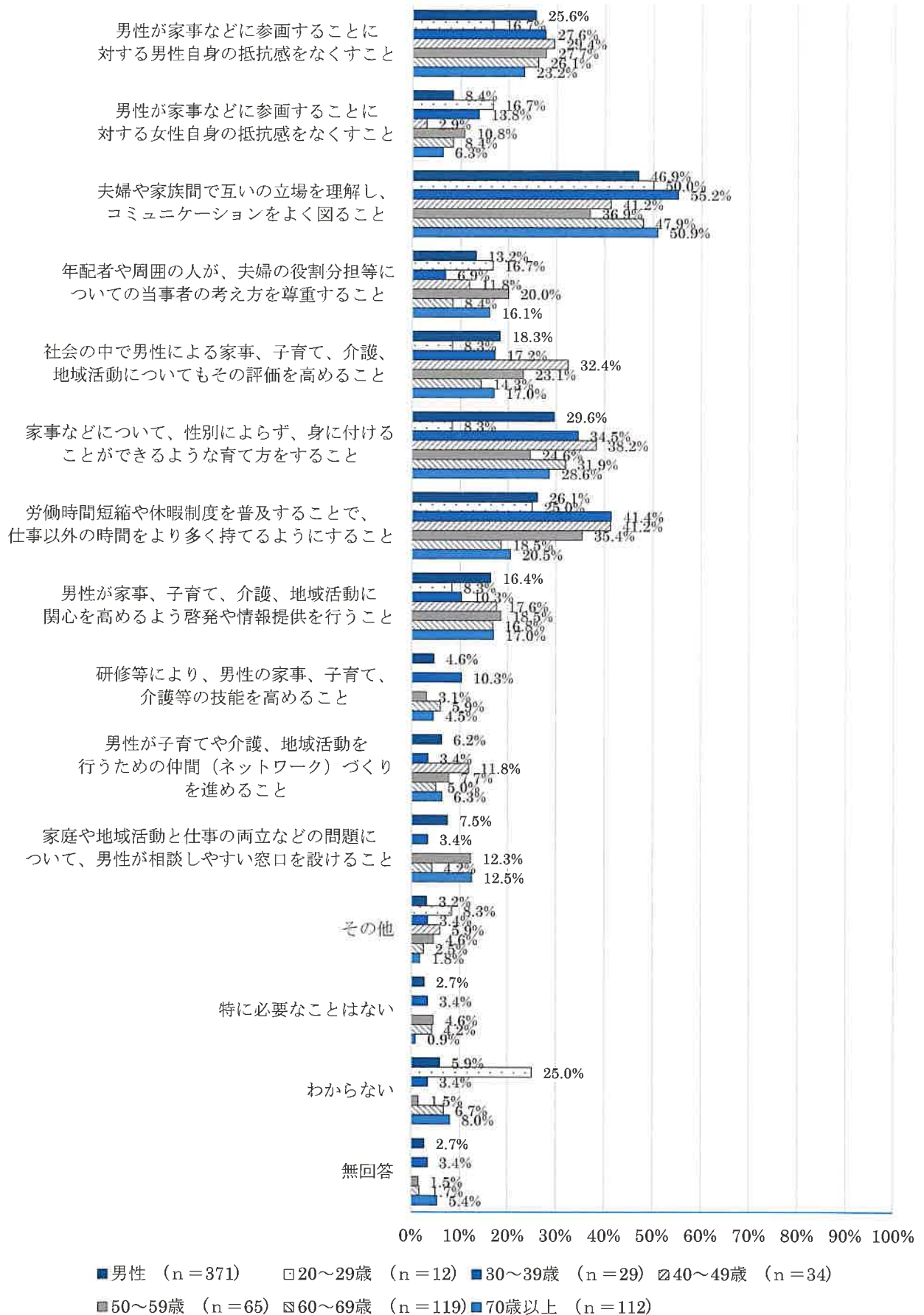
男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加するために必要なこと  
【県との比較】



男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加するために必要なこと  
【女性、年代別】



男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加するために必要なこと  
【男性、年代別】



《その他の回答》

- 相手を思いやる心。
- 共稼ぎでないと、生活が成り立たない賃金水準がダメ。
- 賃金が安いと、仕事をせざるを得ない。よって、地域活動に参加しにくい。
- 家事を評価する。
- 最低賃金の上昇、生活レベルの上昇。
- 周りではなく、自分自身の考え方次第だと思います。これからは、個人の時代だと思います。
- 現在のところ、生活に余裕がない。
- 家庭内で話し合い、その家庭で一番良い方法を選びそれぞれどちらが参加するかを選べば良い事だと思う。
- こういったことを、考えることをやめる。
- 基本、何事も、時間が空いて、出来る方（人）がやる意識が大切。